

平成 24 年10月 9 日 00087 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】

中学校の武道必修に伴う「柔道の安全指導」講習会が北見市で開催されました！

9月26日(水)15:00 北見市体育センター(第2)において「柔道の安全指導」講習会が昨年に引き続き北見市教育委員会主催で行われました。北見市の中学校は16校で、その内10校が剣道、1校が相撲、5校(高栄・光西・東陵・東相内・温根湯)の中学校が柔道を選択しました。それぞれの体育教諭が講習会に参加し、北見市柔道協会が派遣した講師(佐藤壽春会長)の実技講習を受けました。



【柔道協会情報】

10月6日(土)市立体育センター(第2)で、「第46回北見市民体育祭協賛北見市少年少女柔道大会」が開催されました。幼児の部小中学生男女、86選手が優勝を競いました。平成24年度の優勝者は次の通りです。

【幼児の部】荒川かいと、【小学生男子の部】鈴木康世(低)、中澤完太(中)、赤坂透生(高)【小学生女子】薩川詩音(低)、村上菜津美(高)【中学生女子の部】伊藤彩乃、【中学生男子の部】塚本翔葵、以上の皆様です。



【市民体育祭総合開会式】10月8日(月)道立北見体育センターにおいて「第46回市民体育祭総合開会式」が行なわれ、それぞれのスポーツ団体・個人が功績章・有功章・奨励章・特別表彰を受賞しました。武道団体からの受賞者は次の5名です。【功績章】吉田敬次郎氏(北見弓道連盟)【有功章】高山節子氏、細川泰男氏、川戸裕児氏(北見弓道連盟)・中澤伸一氏、中澤正氏(北見市柔道協会)



連載【週刊氷川丸】 ⑥救世主の氷川丸



ナチスのユダヤ人迫害は1933(昭和8)年から徐々に始まっていましたが、1938(昭和13)年5月4日、平和の祭典東京オリンピック招致に奔走した嘉納治五郎が氷川丸船内での死を待っていたかのように、1938(昭和13)年11月9日夜から10日未明にかけてナチス党員と突撃隊がドイツ全土のユダヤ人住宅、商店、シナゴークなどを襲撃、放火した水晶の夜事件が起き、これを機にユダヤ人に対する組織的な迫害政策がさらに本格化していきます。1940(昭和15)年から翌年6月までナチスの迫害を逃れシベリア鉄道、日本経由でカナダやアメリカに避難する多数のユダヤ人を運んだのも氷川丸でした。また、アメリカの対日資産凍結で、シアトル航路も昭和16年8月に横浜に帰着した【平安丸】を最後に休航となりましたが、氷川丸はその後10月に貨物を積載しない引き上げ船として在日外国人216人を乗せてシアトルに向かい、帰りにも邦人364人を乗せて11月中旬横浜に帰着しています。

次週は病院船の氷川丸をお伝えします。